

別紙 陸前高田市地域防災計画見直し業務 評価基準

評価項目	評価の着眼点		判断基準	評価点		
企業評価	成果の確実性	平成22年度以降の同種又は類似業務の実績	下記の順位で評価する。 ①同種業務の受注実績を有する。 ②類似業務の受注実績を有する。 ※①②のいずれにも該当しない場合、失格とする。	① 5 ② 3		
配置予定技術者の評価	管理技術者	資格要件	技術者資格、その技術者資格、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ①技術士（総合技術監理部門、建設部門） ②RCCM(総合監理部門、建設部門) ※①②のいずれにも該当しない場合、失格とする。	① 5 ② 3	
		専門技術力	業務執行技術力	平成22年度以降の同種実績の内容	下記の順位で評価する。 ①平成22年度以降に同種業務に従事した実績がある。 ②平成22年度以降に類似業務に従事した実績がある。 ③①②のいずれにも該当しない場合評価を行わない。	① 5 ② 3
		地域精通度	平成22年度以降に、岩手県内又は岩手県以外の東北地方での業務経験を有する。		下記の順位で評価する。 ①岩手県内での同種又は類似業務の経験がある。 ②岩手県以外の東北地方での同種又は類似業務の経験がある。 ③①②のいずれにも該当しない場合評価をしない。	① 5 ② 3
	照査技術者	資格要件	技術者資格、その技術者資格、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ①技術士（総合監理部門、建設部門） ②RCCM(総合監理部門、建設部門) ③①②のいずれにも該当しない場合は評価しない。	① 5 ② 3	
		専門技術力	業務執行技術力	平成22年度以降の同種実績の内容	下記の順位で評価する。 ①平成22年度以降に同種業務に従事した実績がある。 ②平成22年度以降に類似業務に従事した実績がある。 ③①②のいずれにも該当しない場合は評価しない。	① 5 ② 3
	担当技術者	資格要件	技術者資格、その技術者資格、その専門分野の内容	下記の順位で評価する。 ①技術士（総合技術監理部門、建設部門）による登録を行なっている者。 ②RCCM(総合技術監理部門、建設部門) ③①②のいずれにも該当しない場合評価しない。	① 5 ② 3	
専門技術力		業務執行技術力	平成22年度以降の同種実績の内容	下記の順位で評価する。 ①平成22年度以降に同種業務に従事した実績がある。 ②平成22年度以降に類似業務に従事した実績がある。 ③①②のいずれにも該当しない場合評価しない。	① 5 ② 3	
業務理解度・実施フロー・工程計画	実施方針		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	10(※)		
	実施フロー		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	10(※)		
	工程計画		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	5(※)		
技術提案	的確性、実現性		○地形、環境、地域特性などの条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 ○着眼点、問題点等が適切かつ論理的に整合されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。 ○提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。	30(※)		
ヒアリング	コミュニケーション力、実現性		説明が明瞭であり、質疑応答が適切で、技術提案の実現性が高い場合優位に評価する。	30(※)		
参考見積り	業務コストの妥当性		(任意様式) 評価に考慮しないが、参考見積り額が著しくかけ離れている場合には、減点することがある。	数値化しない		

※ 記載の評価点を最高点とする。